

たけた

市議会だより

2013. 2. 1

No. 30



おうぎもりいなりじんじゃ

扇森稲荷神社 通称:「狐頭様」

こうとうさま

岡藩藩士が白狐の頭を埋めた地に元和2年(1616年)岡藩主中川久盛公が稲荷神を勧請して創祀されたという九州三大稲荷のひとつで、毎年初詣には数万人の参拝者が訪れる。

12月定例会

一般会計補正予算(第8号)などを可決

平成24年第4回定例会は、12月5日から21日までの17日間を会期として開かれました。この定例会では、初日に19案件、最終日に2案件の議案等が提出され、条例の一部改正、補正予算などに継続中の案件を加えた22案件について審議を行い、それぞれ別記のとおり決定しました。

農地等単独災害復旧事業費補助金

1箇所40万円未満の災害復旧については、農地は70%、農業用施設(水路・道路等)は85%補助。

平成24年度竹田市一般会計補正予算(第8号)については、歳入歳出ともに2億875万2千円の減額で、予算総額は250億494万8千円となった。補正予算の歳出の主な内容は、民生費では、自立支援事業費133万2千円等を増額し、災害援護資金貸付金1億60万円等を減額。衛生費では、災害等廃棄物処理事業の大分市清掃工場運営管理費等負担金760万円等を減額。労働費では、史跡岡城跡環境整備事業委託料608万4千円を減額。農林水産業費では、木質バイオマス供給施設整備事業費補助金7750万円、椎茸生産基盤高度化緊急対策事業費補助金1524万2千円等をそれぞれ減額。商工費では、観光施設等管理費775万2千円等を増額。土木費では、社会資本整備総合交付金事業852万6千円

等を減額。消防費では、消防庁舎建設に係る施設費4094万1千円等を減額。教育費では、新図書館建設事業に伴う国有地の購入費1364万1千円等を増額し、幼稚園建設費627万円等を減額。



▲予算特別委員会(吉竹 悟委員長)

災害復旧費では、農林水産施設災害復旧費3796万8千円、文教施設災害復旧費1809万4千円をそれぞれ増額、公共土木施設災害復旧費3640万円、その他公共施設災害復旧費39万5千円をそれぞれ減額した。歳入については、分担金325万4千円、国庫負担金1億198万3千円、県補助金1億89万9千円、財産収入1226万7千円、市債1億2560万円等をそれぞれ減額、国庫補助金4811万3千円、財政調整基金繰入金3636万1千円等をそれぞれ増額した。

補正予算の主な内訳

◇老人福祉施設入所者援護費(老人保護措置)	870万円
◇自立支援事業費	1,136万円
◇荻の里温泉館 薪ボイラー設置費	680万円
◇新図書館建設事業費(国有地購入事業)	1,364万円
◇農地等単独災害復旧事業費補助金	1,789万円

自治会連合会との意見交換会



竹田市自治会連合会との意見交換会が、11月12日(月)竹田市役所本庁舎の3階で開催されました。当日は、各地区の自治会長15名の皆さんと竹田市議会議員が一堂に会して竹田市の現状と今後の課題等について意見交換が行われました。意見交換会では、7・12豪雨災害の復旧について、農業・雇用問題について、過疎対策について、議会改革の現状について、等々多くの意見や要望が自治会長会長の皆さんから出されました。

平成24年 第2回臨時会(平成24年10月30日)**議案等の議決結果**

認定第2号	平成23年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第3号	平成23年度竹田市同和対策事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第4号	平成23年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第5号	平成23年度竹田市畜産開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第6号	平成23年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第7号	平成23年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第8号	平成23年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第9号	平成23年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第10号	平成23年度竹田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第11号	平成23年度竹田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第12号	平成23年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第13号	平成23年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第14号	平成23年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第104号	平成24年度竹田市一般会計補正予算(第6号)について	可 決
議案第105号	平成24年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第106号	平成24年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第107号	平成24年度竹田市水道事業会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第108号	竹田市基金条例の一部改正について	可 決

平成24年 第4回定例会(平成24年12月5日～12月21日)**議案・陳情等の議決結果**

報告第8号	専決処分事項「平成24年度竹田市一般会計補正予算(第7号)」について	承 認
議案第109号	平成24年度竹田市一般会計補正予算(第8号)について	可 決
議案第110号	平成24年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第111号	平成24年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第112号	平成24年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第113号	平成24年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第114号	平成24年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第115号	平成24年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第116号	平成24年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第117号	平成24年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第118号	平成24年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第119号	平成24年度竹田市水道事業会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第120号	竹田市特別職の常勤職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
議案第121号	竹田市職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
議案第122号	竹田市暴力団排除条例の一部改正について	可 決
議案第123号	竹田市子育て定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決
議案第124号	竹田市税条例の一部改正について	可 決
議案第125号	指定管理者の指定に関する件について	可 決
議案第126号	指定管理者の指定に関する件について	可 決
陳情第2号	四国電力伊方原子力発電所再稼働に反対する意見書を求める陳情	不採択
議会議案第2号	竹田市議会委員会条例の一部改正について	可 決
議会議案第3号	竹田市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について	可 決

10議員が登壇

一般質問

市政を問う

 12月11日(火)5名
 12日(水)5名


竹田市議会では、一般質問は答弁を含め1人60分となっています。内容は、各議員本人が700字程度にまとめたもので、質問順に掲載しています。



災害復旧・検証と観光戦略を問う

阿部 雅彦

問 豪雨による災害復旧のスタンスと玉来ダム早期建設の取組状況は。

市長 広瀬県知事へ竹田市民の皆様からの署名を持参しての要請で、県は推進体制をつくるという積極的な回答を得た。ダム建設には7〜8年の期間を要すると思われるので、河道整備に主軸を置いて進めたい。

問 玉来川、大野川及び魚住ダムの洪水時における水量調節対策や河床掘削・堤防の設置について、市はどのように考えて県に要望するのか。

建設課長 まず、住民の思いをしつかりと聞き、県へ要望するのが大前提である。住民の皆さんと現地検証を実施して第4回検証会議にないていきたい。

問 流木による災害対策と森林整備による森林資源の活用方法は。

農政課長 災害に強い森づくりを目指す。竹田市森林整備計画を見直し、林種転換等広葉樹林化や混合林化を進めていきたい。

副市長 竹田市バイオマスタウン構想による森林資源の燃料化や幅広い用途に活用する。その一例として萩の里温泉に実証実験のため薪ボイラ

ーを設置し、調査研究を行う。

問 竹田市災害対策本部と竹田市ポランティアセンターとの連携で今後の課題は何か。

総務課長 道路の被災状況や瓦れき処理等の情報共有がしつかりでき、ポランティアセンターの活動が円滑かつ効果的にその力が発揮できる仕組みづくりをしていきたい。

問 竹田らしい歴史・文化とジオパーク構想を生かした観光都市づくりに向けた戦略についてどう考えるか。

市長 市民が地域学を深め、誇りを持つと同時に、政策の中心に据えて生かしたい。ツーリズムの力で体験や視察を含めた新商品のジオパークツアールの開発も考えられる。



1/18(金)豪雨災害現場検証の様子



「復旧・復興」竹田市の未来創造は

吉 竹 悟

納税方法について

問 竹田市の貴重な財源となる税を、納期月数を増やすなど、納税者側にたった新たな納入方法が確立できないか。また、できる限りの支援策としての減免体制はできないか。

税務課長 市として納税者の側にたち、納めやすい環境整備に向け、準備をしている。現在までの減免額は、1416万7150円である。

豪雨災害後の総合計画の方向性は

問 建設課・農林整備課所管における今後の災害復旧工程は。

建設課長 他課の職員を動員し、昼夜を問わず作業をしている。年度内に全ての箇所が契約にこぎつきたい。

農林整備課長

県・他市から職員の援助をいただき4千箇所を現地調査し、査定設計書作成や応急工事の検査、並行し補助金増嵩申請事務等に対応している。

問 4か月の残任期間では、「復旧・復興」竹田市の未来創造は不可能である。次期市長選へ出馬して、かじ取り役をする覚悟はあるのか。

市長 この4年間使命を果たしてきたのかと、自ら問いかけてきた日々



久住支所での災害復旧事務

であった。未来に向けて、子や孫に夢と可能性という貴重な種を蒔くことができたと思う。被災された方の将来設計をしっかりとフォローしなければならぬ。これからが正念場だと覚悟をしている。市民の皆さんの賛同がいただければ、これまで以上に確たる政治理念を持ち、結果責任を強く意識しながら満身創痍、来春の試練に立ち向かい、使命を果たしたいと決意を新たにしている。

※その他、新図書館、街なかぎわい創出、文化会館・体育センター、今後の財政予測、簡易水道・上水道の未納状況について質問した。



岡城跡の観光戦略は

坂 梨 宏之進

市町村設置型合併処理浄化槽について

問 近年、合併浄化槽の設置が当初計画の半分以下、80基程度と少ないのはなぜか。

環境衛生課長 浄化槽の設置や農業集落排水処理施設への接続には、住宅内の改修、個人負担が伴うため、高齢者家庭などでの普及が進まないものと思われる。

自治会公民館の浄化槽は浄化槽

問 推進事業により設置できないのか。

環境衛生課長 「居住を目的とした住宅であること」と条例で定められているので設置ができない。

災害時の避難所について

問 竹田地域の災害時における避難所が少ないのではないか。

総務課長 市の管理下の指定避難所を増加しても、避難者への十分な対応が行き渡らないなどの問題が懸念されるが、迅速な避難行動が重要であるので、各地域の集会所等を利用することも必要である。それらを視野に入れ、緊急時の総合的な対応を更に検討をしている。

観光振興について

問 竹田市中心市街地活性化構想は



空から見た岡城跡

どのようになっているのか。
商工観光課長 7月の大災害の対応を優先したため、先般、約5か月ぶりに再開した。竹田市都市計画マスタープランなど諸計画との整合性を図りながら、様々な角度から検討、協議を進めている。

登城方法など岡城跡の観光戦略

問 はどうなっているのか。

商工観光課長 バリアフリー、エレベーターの設置を提案して、岡城のスケールの大きさ、抜群の眺望、石垣など城内回遊への期待を膨らませる演出を考えている。文化財課と連携しながら岡城の魅力を活かした環境づくりと情報発信に努め、訪問客の増加に向けた取組を推進する。



農業問題について

森 哲 秀

問 稲作の現状と課題について

農政課長 本市の稲作は、米価の下落と生産コストの上昇により所得が減少し、さらに高齢化等と相まって、「米づくり」に対する意欲の減退が懸念される。本年の食味アンケートの結果、竹田の米は「おいしい」と評価する人が95%以上あった。今後とも食味の高さを維持向上するために、栽培層の忠実な実践や有機肥料の活用等の取組を進め、産地づくりを進めていく。

問 後継者不足、担い手や農業従事者の高齢化をどのように捉え分析しているのか、今後の取組は。

農政課長 竹田市の農業就業人口は、平成12年度5542人で、19年度以降は市町村別の公表がないために詳細は掴めないが、諸般の状況から農業就業人口は年々減少し、高齢化も進んでいる。近年の新規就農状況は、平成22年度は9名、23年度は15名となり逆に増加している。就農支援は、国も平成23年10月に「我が国の食と農林業再生のための基本方針・行動計画」を定め、24年度から具体的方策として「人・農地プラン」に基づいた

新規就農や農地の集積等を総合的に支援する事業を推進する。

問 「カボス」について、現状と課題解決に向けての今後の取組は。

農政課長 市内のカボス園96haのうち、約10haが廃園には至っていないが、十分な管理がされていない園地となっている。露地物の価格が低迷する中で、所得向上のためには、出荷のピークをフラット化する必要がある。中長期貯蔵へのシフトが有効と思う。潜在的な需要はまだ十分あるので、市況を左右する力をつけるために共販体制の再構築が強く求められていると思うので、農協、生産組合と検討していきたい。



カボスの成木



大蘇ダムについて

中 村 憲 史

国営大野川上流水利償還金

負担積立金について

問 旧荻町から持ち込まれた約7億円は、23億円に対する農家負担分として認識しているが間違いはないか。

市長 荻から持ち込まれた7億円の基金は、市負担23億2千万円を過疎債で借入れした時に、市が負担すべき一般財源の額に相当する額が持ち込まれてきている。

問 追加工事を実施し完成させるといふ説明がなされた126億円の事業費のうち、竹田市の負担金額は。

市長 概算だが、約4億7千万円程度が竹田市の追加負担となる見込みである。

問 償還のシミュレーションを行っているが、聞かぬが。

財政課長 竹田市の負担総額である27億9千万円の支払いについては、工事完了後の平成32年度に過疎対策事業債の借入を21億円行っただけで、一括償還したい。

問 熊本県は追加負担してまでダムの水利用を増やすとは考えていないと聞かぬが、竹田市のさらなる財政負担増につながるのでは。



浸透抑制対策工事中の大蘇ダム

農林整備課長 約4億7千万円は、熊本県側の浸透抑制対策負担がないものとして算定しているもので、さらなる追加負担は生じないものと考えている。

※その他、指定管理者制度について質問した。



豪雨災害の復旧について

佐田 啓二

竹田市水害検証会議について

問 会議で出された意見、要望は。

建設課長 玉来ダムの早期完成と完成までの緊急対応として、河川断面の確保、玉来川本流からの逆流対策、

流木被害対策として上流部にスリットダムの建設、流木が掛かる橋りよ

うの対策、河川監視の強化と早期の情報提供、魚住ダムの検証などが出された。河川関係、山林関係、魚住

ダムに関して各機関から対策を含めた調査結果の報告があったが、市及び被災者の理解を得る状況にはない。今後

さらに検証を進める。
問 検証会議の結果をどう活かしていくのか。

建設課長 概ね3年以内を目処とする短期対応、10年を視野に入れた中長期の対応に整理しソフト面、ハード面の進捗管理をしていく。

竹田市文化会館の復旧計画は

問 文部科学省との協議内容は。

生涯学習課長 文化会館、中央公民館、体育センターの複合施設全体を

現在地で復旧する場合は、未確定だが約7億8千万円かかると見ている。



今も生々しく残る災害の爪あと

財源は国が3分の2、地方負担分は3分の1になる。移転・新築の場合も3分の2の5億2千万円は活用できる。

問 市の方針は。

市長 安全第一を考えれば移転新築が一番かなど考える。市民との合意形成を図り、平成25年度に基本構想をしっかりと組み立てていきたい。

災害復旧作業について

問 発注状況について

建設課長 公共土木の査定提案件数は道路、橋りょう、河川で合計306

件、工事金額約16億円、年内に7割、年度内には100%発注する。

農林整備課長 農業関係40万円以上の査定件数は約2800件、年内発注は厳しい。全力をあげている。

※その他、職員の健康管理に万全を期すよう要請した。



公用車の管理について

阿部 重幸

竹田市の公用車について

問 竹田市の公用車は適正に管理され、車検等が公平に業者に委託されているのか。

財政課長 全車両200台のうち本庁97台は17台を管財係が集中管理し、

残りは各課・各支所が市の委託事務契約に基づいて公平・公正に実施している。また荻支所11台、久住支所14

台、直入支所12台、消防66台(うち消防団52台)は、不平等のないよう管理されていると承知している。

合併後8年目の現状について

問 議会改革で議員定数が来期から4人減の18人になる。職員の数は類似自治体に比べると多いと思うが実態はいかがか。

総務課長 6月30日現在市職員357名、消防職員62名、嘱託職員175名、臨時職員47名合計641名で、合併時の522名から7年目の人数は101名減となり計画通り推移しており、今後適正な定員管理計画の元に事務事業の見直し等で推進を図っていく。

問 2010年国勢調査で総務省地方公務員給与実態「人口1000人

当たり職員数は、大分県では国東市、豊後大野市に次いで3番目に多く、全国810市の753番目に位置し、さらなる行政改革が望まれる。

市長 合併時それぞれの市町の職員数が多く、今後も行政改革を強力に推し進めていきたい。

いじめ問題について

問 教育委員会での論議の状況は。

教育長 いじめ問題については、9月議会でもお答えしたように、学校だけでなく地域の協力をいただき、なくしていく強い気持ちである。

環境問題について

問 大野川源流の水質管理については、高森町との間で協議が行われているのか。

環境衛生課長 河川の水質管理は、大分県環境保全課の管轄となっている。高森町との毎月の協議は実施されていないが、今後は密に連絡等を取りながら行政活動を行っていきたい。

※その他、旧柏原グラウンドの活用についてと災害復旧の現状について質問した。



7・12竹田市豪雨災害について

渡辺 克己

7・12竹田市豪雨災害

検証会議について

問 第1回検証会議が九電・卓土木・市の参加で非公開にて行われたとあるが意味は何か。

建設課長 今後の検証会議の進行について協議した。

阿蔵地区・山手地区の復旧について
問 検証会議の中で両地区についての復旧方法の結論は、いつまでに確定し実施となるのか。

建設課長 護岸の復旧は査定が終了している。堤防高上げ、河床掘削の事業を申請し、梅雨期までの完成とするよう県に願う。

問 九電・卓土木・被災住民の意見調整には専門的な技術的考察が必要と思われるが、外部の専門業者に委託することは考えているのか。

建設課長 検証会議結果により、必要な場合はそのようにしたい。

問 災害復旧事業は原形復旧であり、工法的に限度がある。被災住民が望む復旧計画と不足部分がある場合、不足部分について市が対応する考えがあるのか。

建設課長 河川管理者が必要と思う

部分は、管理者で処理される。

問 九電に対して堰の撤去および機能が不足する洪水吐の改修を要望すべきではないか。

建設課長 九電に要望している。

問 破堤して流入した濁流の処理として、稲葉川へ流す排水路(トンネル水路)の建設はできないか。

建設課長 稲葉川の通水量に余裕があるのか、また経費についても考える必要がある。

文化会館の復旧復興について

問 新築経費と現施設の撤去費用について聞く。

生涯学習課長 新築費用が22億8千万円、現施設の撤去費用が3億円である。

問 被災原因が同じ地区の復旧計画が確定していない時、移転新築計画の検討は早いのではないか。

市長 近年は異常気象下にあり現位置での安全確保に不安がある。文化会館を利用する多くの市民の要望にも応えたい。



文化会館前の拝田原橋

財政全般について

井 英昭



問 自治体の借金である地方債残高の今後5年間の見込みは。

財政課長 24年度末は190億4千万円、25年度末は188億3千万円、26年度末は182億7千万円、27年度末は177億4千万円、28年度末は186億8千万円、29年度末は179億7千万円となっている。

問 今後の大型事業の予想額はどうか。

企画情報課長 24事業で総額43億5千万円。

問 24事業とはどのようなものか。

企画情報課長 ①消防庁舎建設、②松本分館建設、③文化会館の整備、④文化会館整備に伴う跡地の利用計画、⑤体育センター、⑥竹田幼稚園の新築移転、⑦図書館建設、⑧中心市街地のコミュニティ施設整備、⑨岡城ガ

イダンスセンター、⑩大蘇ダムの償還、⑪水道課の移転、⑫第二庁舎の活用、⑬老人ホーム南山荘の利活用、⑭衛生センターの長寿化事業、⑮本庁舎の空調整備、⑯七里分庁舎の解体、⑰阿蔵地区集団移転、⑱荻地域中心市街地活性化事業、⑲荻町コミュニティ施設整備、⑳市道宮原・米賀線、

⑳市道宮原・米賀線、

⑳市道宮原・米賀線、
㉑久住支所の利活用、㉒直入荘整備、
㉓直入暮らしのサポートセンター整備、
㉔川崎重工業跡地利活用。

問 市財政は客観的には厳しいので、市民の皆さんも注目してほしい。

福祉振興基金について

問 6億5千万円の基金を取り崩し南山荘建設事業補助に1億2千万円を充てると聞いた。説明を求めます。

福祉事務所長 「南山荘あり方懇話会」の答申で民営化の方向が示されている。それを受け市内外の事業所から指定管理受託の意向が示された。県の補助金も使い、26年度中に民営化と改築移転できれば効果的と考えている。



民営化の方向が示されている養護老人ホーム南山荘



臨時・緊急経済対策交付金について

渡 辺 龍太郎

問 4年間に交付された緊急経済対策交付金の総額はいくらか。

財政課長 平成20年度5億6725万円・21年度12億8767万円・22年度2億8070万円で合計21億3563万円となっている。

問 依然として景気の低迷が続いているが、21億円の効果をどうとらえているか。

市長 TOP懇談会から市民の要望を政策化してきた。180事業を展開、後年度に負担を残すのではなく後年度に利益を生み出すことを基軸に展開した。

問 政治は結果であるが、依然景気の低迷が続く中では、大きな金額を一つの事業(たとえば中心市街地の活性化)に投入する方法も考えられただのではと思う。政権交代があればまた大きな経済対策が行われると思うが、政策反映の一つの方法としてこういった視点での取組も考えていただきたい。

進出企業について

問 進出予定の祖峰企画・久住高原ゴーゲンバラの進出状況はどうなっているのか。



臨時・緊急経済対策交付金等で改修した竹田分館

企画情報課長

祖峰企画については、国内外の情勢が変化しているため工事の着工が遅れているが、もろもろの条件を整えば平成25年4月に着工、10月に完成する意向。久住高原ゴーゲンバラについては、建設予定地に山の斜面を伝わって入り込む雨水、敷地内を走る水路からの浸透水が予想以上に多く、建設位置の変更を余儀なくされ、設計見直しのため遅れている。問題が順調に解決されれば、平成25年4月に着工、夏場には一部操業を開始したい意向。

問 一部では、水利権の問題等、会社側が地元と協議ができていないとの話があるがどうか。

企画情報課長 市の関係することには、地元水利組合、自治会の理解はいただいている。

第8回 歳末助け合いチャリティーショー

竹田ん「弥次・喜多」珍道中

監督 佐田啓二



「竹田ん弥次・喜多珍道中」の一場面

市は「天空の城」日本のマチュピチュ」との異名を誇る竹田城があります。両市とは昨年パートナーシップ協定を結びました。訪問したその感激で「竹田ん弥次・喜多珍道中」の骨格ができました。

議員全員が出演する豪華キャストで臨みました。第3幕の「岡城跡の活用をみんなじ考えようじゃねえな」という場面では会場から拍手が沸きあがり感動しました。

7・12竹田水害を受け、開催するか否かチャリティーショー実行委員会の議論は分かれましたが、こんな時こそ元気を出して、明るい話題を提供しようということになりました。

台本のきっかけは、社会文教常任委員会の研修でした。大阪府茨木市は岡藩初代藩主・中川秀成公の父・清秀公の居城茨木城跡と清秀公が眠る梅林寺があります。兵庫県朝来



議員全員が出演した第8回チャリティーショー(12/1)

市民から信頼される議会を目指して

「議会基本条例」いよいよ制定へ

作業部会座長 阿部雅彦

竹田市議会として取り組みました議会基本条例の制定は、12月定例会での上程・議決を目指してまいりました。しかし、7月の豪雨災害からの復旧を優先させ、条例制定に向けた作業は一時中断を致しました。条例の素案は12月ででき上がり、市民の皆様へ公開をし、パブリックコメントを求めてまいりました。

さて、議会基本条例は、さらに市民の皆様のご意見を尊重し、わかりやすい条例となりますように、最終の仕上げの作業に入ります。3月定例会で成立させ、4月施行を目指しています。

ところで先日、早稲田大学マニフェスト研究所が発表した本年度の議会改革度調査により、大分県では大分市議会が全国15位にランキングされています。

た。この調査は次の3つの点が評価されます。①情報公開度、②住民参加度、③議会の機能強化度です。議会改革を進める竹田市におきましても、ホームページ上で基本条例等の公開、市民との意見交換会の実施、議会発の政策条例提案機能を持つ「議会政策協議会」の設置等を議会基本条例に位置づけています。市民から信頼される議会を目指して、今後も努力を続けていかなければと思います。



12/27～1/18まで市民課前・各支所・市議会ホームページで公開し、パブリックコメントを求めてまいりました

議会基本条例とは

議会のあり方を市民に対して宣言するもので、北海道栗山町が平成18年5月全国に先駆けて制定した、議会の「最高規範」といえる。

議会の役割を再定義し、公開度を上げて説明責任を果たすなど、活性化のための運営ルールを定めることが特徴となっている。

あとがき

まだまだ寒さが身にしみる時節。そろそろ今年の初種の準備、水田や水路の状況が気になる頃。

昨年、7・12豪雨災害での被災箇所、全く耕作できない水田が、市内全域には未だに存在する。国・県・市当局が最大限に取り組み、農家の落胆は隠せない。

災害に強いまちづくりは、これまで複数回の甚大な災害を受けた本市には、最も重要な課題である。一日も早い復旧・復興を実現するには、チーム竹田で取り組まなければならない。

吉竹 悟

市議会 ホームページ

本会議の会議録や議会の日程、質問項目、議会のしくみと役割など様々な情報を掲載しています。



竹田市議会 で 検索

竹田市議会 <http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>

議会と住民を結ぶ架け橋として頑張ってきました

春は別れと出会いの季節と申します。私共この2年間発行に携わり、皆様から親しまれる「議会だより」を目指してまいりました。

このメンバー最後の発行となりますが、今後とも皆様のご愛読をよろしく願いいたします。

市議会だより

編集委員会

委員長	岩屋 千利
副委員長	阿部 雅彦
委員	佐田 啓二
〃	日小田 秀之
〃	森 哲秀
〃	吉竹 悟
〃	和田 幸生
〃	(議長) 加藤 正義